

みんなにやさしいバイオの夢



Report

The background image is a composite of several elements: a blue and white abstract pattern of light rays and bokeh on the left; a close-up of a cracked egg with a bright orange yolk in the center; and three small glass vials containing green, red, and yellow pills on the right. The overall theme is biotechnology and pharmaceuticals.

第14期 年次報告書

平成22年8月1日から平成23年7月31日まで

証券コード：2929

株式会社 **ファーマフーズ**

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

東日本大震災により、被害に遭われた地域の皆様には、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、当社第14期（平成22年8月1日から平成23年7月31日まで）の決算を終了しましたので、その概要についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 金 武祐

▶ 当期の業績について

当期におけるわが国経済は、政府による景気刺激策の効果や新興国の成長を背景に緩やかながらも回復基調で推移しましたが、本年3月に発生した東日本大震災により甚大な被害を受け、また急激な円高や世界的な金融市場の混乱もあり、企業を取り巻く環境は厳しさを増す状況にありました。

当社を取り巻くバイオ分野及び機能性食品の分野におきましても、消費者の節約志向・低価格志向が続く中、東日本大震災による消費落ち込みの影響を受け、一層厳しい経営環境となりました。

このような厳しい経営環境下において、当社は「医薬と食の融合」というコンセプトに基づき、事業部門を機能性素材部門、機能性製品部門、バイオメディカル部門、及びLSI (Life Science Information) 部門と定めて事業活動に取り組み、開発面では、当社の基幹技術である鶏卵抗体応用技術を用いて、抗インフルエンザウイルスや抗歯周病抗体の開発を進め、本技術の医薬品事業等への展開を見据えた次世代製品の研究開発に注力してまいりました。営業面では、グローバル展開の中で最も重要な市場と位置付けている中国で最大手乳業メーカー・蒙牛乳業に当社製品の採用が開始され、今春より新商品が中国全土にて販売開始されております。また、北米市場においては、現在の主力製品である機能性食品素材を事業展開するための活動を行い、機能性製品部門においては、消費者向け最終製品を国内外へ販売すべく活動を実施してまいりました。

以上の結果、売上高は、1,006百万円（前期959百万円、前期比5.0%増）と増収となりました。売上総利益については、中国向けポンペップ™が利益面に貢献しましたが、利益率の高いギャバの売上が低調であったこと等により417百万円（前期443百万円、前期比5.8%減）となりました。販売費及び一般管理費については、461百万円（前期507百万円、前期比9.0%減）となり、営業損失は44百万円（前期63百万円）と改善しました。最終損益につきましては、歯周病バイオフィルム抗体の研究開発にかかる補助金収入等を計上し、経常利益は32百万円（前期18百万円、前期比78.5%増）と増益になりましたが、保有株式の株価下落による投資有価証券評価損を74百万円計上した結果、当期純損失46百万円（前期は当期純利益15百万円）となりました。

当期において最終損益は純損失となりましたが、売上高は10億円を超え、経常利益でも前期を上回る利益を確保し、業績は上昇傾向へと推移しております。また、海外での営業活動も確実に成果を上げてきております。次期以降も研究活動、営業活動を更に強化し、一層の成長、発展を目指してまいります。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年10月

中期経営計画

当社では、平成23年8月をスタートとする中期経営計画（第15期、第16期、第17期）を策定いたしました。創業15年目の節目をスタートとする中期経営計画では、これまでの活動を礎として、大きな飛躍を遂げるよう邁進してまいります。

—中期経営計画 要旨—

●営業面

<海外営業>

グローバル展開の中で最も重要な市場の一つとして位置付けている中国で「ボーンペップ™」の採用製品拡大、「ファーマギャバ™」の大型商品早期採用に取り組みます。また昨年12月に中国瀋陽で販売開始している「葉酸たまご」の中国全土での販売展開を目指します。

この他「ランペップ™」「ライフペップ™」「鶏卵抗体（IgY）」の新資源食品認可取得を行い、中国での市場拡大を目指し販売アイテム数の増加に取り組みます。

北米市場においては、「ファーマギャバ™」のGRAS物質としての届出（Notification GRAS）を完了し、グローバルな大手メーカーへの早期採用を実現させ、大型ビジネスの構築を図ります。

韓国、台湾、タイ等のアジア諸国にて主力製品の「ファーマギャバ™」「葉酸たまご」の販売許可を取得し事業化を行い、新興国での市場拡大を図ります。

<国内営業>

国内営業においては、「ファーマギャバ™」について睡眠改善効果等のコンセプトの拡大を進め、市場開拓を図ります。この他、研究開発が完了している「ランペップ™」、「抗歯周病鶏卵抗体」、「抗インフルエンザウイルス鶏卵抗体」について、当社の主力製品とするべく、サプリメントメーカー・食品メーカーへの営業活動を進めてまいります。

●開発面

<新規機能性素材の開発>

抗炎症・抗酸化効果を有するたんぱく質『チオレドキシニン（TRX）』、睡眠改善効果を有する素材『クワンソウ』等の新規機能性素材の研究開発を完了させ、本格的な事業化を目指してまいります。

<次世代製品の開発事業>

次世代製品の開発事業として「ボーンペップ™」の再生医療・医薬品分野への高度利用展開、関連会社である株式会社広島バイオメディカルとの共同事業による抗体受託作製事業の拡大、更には抗体医薬開発事業の早期事業化を行います。

TOPICS

中国蒙牛乳業よりボーンペップ™採用商品販売開始

中国最大手乳業メーカー・蒙牛乳業より、当社製品のボーンペップ™が採用された乳飲料「高カルシウム牛乳」が、中国全土にて販売開始されました。

乳飲料「高カルシウム牛乳」は、「骨の健康」をコンセプトとしたシリーズ商品で、これまで中国全土で販売実績のある商品です。

今回発売の新商品は、従来商品がリニューアルされたものであり、「高カルシウム牛乳」「低脂肪高カルシウム牛乳」の2タイプで、サイズの異なる商品が一齐に販売されております。

ボーンペップ™は、骨の成長ばかりでなく、骨の老化防止にも役立つことが実証されており、「高カルシウム牛乳」にボーンペップ™を加えることで「骨の健康」のコンセプトをより明確にした、健康に役立つ商品として注目されております。

昨年未からの「葉酸たまご」の販売開始に続き、中国市場での営業活動が確実に成果を上げてきております。



「機能性素材部門」

鶏卵・野菜・緑茶・米・牛乳・乳酸菌など、私たちの身近な食品素材から生理活性物質を探求し、科学的考証に基づいた素材開発を行っております。

主たる素材として以下のものが挙げられます。

ファーマ バイオミックス 葉酸たまご

ファーマバイオミックスは「葉酸たまご」の源です。
飼料に添加して給餌することで、葉酸を通常卵の約3倍含有する機能性卵が産卵されます。
葉酸たまごは、現在では殻付き卵（生たまご）、温泉たまごのほか、パン・菓子用途等として販売しております。

ボーンペップ

卵の中でヒナの骨が形成されることに着目し、骨の成長に関わる素材として開発しました。
現在は、乳飲料、粉ミルク、サプリメント等に採用されております。

ランペップ

卵白タンパク質を酵素分解した、アミノ酸供給素材で、血流改善効果や運動疲労軽減効果があります。

ギャバ

動植物や微生物で生産される非タンパク系のアミノ酸の一つで、脳内で抑制系の神経伝達物質として働くといわれています。
リラックス効果、睡眠を促す効果が確認されています。

鶏卵抗体 (IgY)

鶏卵抗体技術はニワトリの卵から抗体を作る技術です。
本抗体は鳥類固有の免疫システムを利用したバイオテクノロジーにより得られる素材であり、機能性食品や化粧品等のほか、医薬品・化成品・診断薬等、様々な用途に可能性が期待できます。

「機能性製品部門」

機能性素材の研究・開発から派生した部門として、消費者向けの最終製品の企画・製品化に取り組んでおります。当事業はOEM事業として、製薬会社、健康食品会社及び通信販売会社用のダイエット食品やサプリメントなどの企画・販売のほか、当社ブランドによるサプリメントや飲料などの企画・販売をしております。

「バイオメディカル部門」

これまで得られた基本技術、中でも鶏卵抗体技術を軸として、国内・海外の大学薬学部及び各製薬メーカー、診断薬メーカーなどと基礎研究を中心に共同研究を実施しております。また、平成19年4月に株式会社広島バイオメディカルを設立し、当社の次世代製品（検査薬・医療食・メディカルデバイス製品等）の開発を進めております。将来の当社事業の中核とすべく、開発、技術、マーケット展開等の多角的な側面からの検討を行いながら、食品メーカー、総合化学メーカー、及び製薬メーカーとの間で共同研究等を実施し、事業化を進めております。

「LSI部門」

機能性素材全般に関わる研究開発から得られた技術等を基に、食品メーカー・化粧品メーカー等より各種素材・製品等に関する生理機能・効能・効果等の受託業務を実施しております。機能性に関するデータ取得やその分析、各種素材の成分分析、精製品の作成依頼等、健康食品や化粧品を中心とした各メーカーの研究開発に対するサポートを実施しております。

鶏卵抗体（IgY）で歯周病予防効果を確認

当社と日本大学松戸歯学部との共同研究により、鶏卵抗体による歯周病のリスク低減効果を確認し、その成果を「第65回日本栄養・食糧学会大会」（平成23年5月13日～15日 お茶の水女子大学）において発表いたしました。

鶏卵抗体（IgY）による歯周病リスク予防の研究開発活動は、当社の戦略的研究テーマであり、政府からの民間実用化促進事業研究の支援を受け、約3年にわたり研究を行ってきたものです。

歯周病原因子の免疫



【鶏卵抗体配合のガム、トローチ製品例】

歯周病は口内の病原性細菌が引き起こすものであり、細菌が歯と歯肉の境にバイオフィルム（病巣）を形成し、歯肉炎等の歯周病をもたらします。歯周病は35歳以上の約8割が罹患しているとみられていますが、重要なことは、歯周病の感染が心疾患や糖尿病等の全身疾患を引き起こす要因になることが、近年の研究により認められていることです。

当社の鶏卵抗体（IgY）を応用したこれまでの研究により、歯周病バイオフィルム（病巣）抗体に口内の細菌増殖を抑える効果があることを確認することができました。

鶏卵抗体（IgY）を利用した製品は可食フィルム、ガム、トローチなどでの実用化が完了しており、早期事業化に向け営業活動を強化してまいります。

中国瀋陽で葉酸たまごの生産基地開設

当社では、中国大手食品メーカーの瀋陽華美畜禽有限公司とパートナーシップを締結し、昨年末より中国瀋陽市内で葉酸たまごの販売を開始しております。

今春には瀋陽市内において、葉酸たまごの生産基地が開設され、その記者会見が行われました。また現地では葉酸たまごのテレビCMが放映され、葉酸たまごの機能性が広く紹介されております。

葉酸たまごは、当社製品のファーマバイオミックス™をニワトリに給餌することで産卵される機能性たまごで、通常卵より高い葉酸含有量が認められております。

現在日本、韓国合わせて240万羽のニワトリにファーマバイオミックス™は給餌されていますが、日本、韓国、中国の3カ国合わせて300万羽の給餌体制を早期に構築し、葉酸たまごを用いたグローバルビジネスを展開してまいります。



【葉酸たまご生産基地開設の記者会見】

野村證券で会社説明会開催

本年5月に野村證券京都支店におきまして、個人投資家向け会社説明会を開催いたしました。野村證券での会社説明会開催は約5年ぶりの事であり、当日は多数の個人投資家様にご参加頂きました。

会社説明会では、当社金社社長が

- ①主要開発テクノロジー
- ②海外展開
- ③次世代製品開発

についてご説明いたしました。

説明会参加者には当社について初めて知られた方も多数おられました。 「技術力が高くユニーク」「夢が持てる」等のご感想を頂き、当社製品では「ギャバ」「鶏卵抗体（IgY）」等に多くのご興味を持って頂きました。

今後も株主様、投資家の皆様のご期待に添えるよう、積極的な広報活動に取り組んでまいります。

今後とも、一層のご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当期 (平成23年7月31日現在)	前期 (平成22年7月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	1,262,637	1,292,283
現金及び預金	263,531	311,625
受取手形及び売掛金	303,968	270,341
有価証券	557,828	594,051
たな卸資産	91,510	66,720
その他	46,849	50,478
貸倒引当金	△ 1,052	△ 933
固定資産	1,151,269	1,169,230
有形固定資産	754,417	783,034
建物	320,717	336,150
工具、器具及び備品	28,848	38,993
土地	387,863	387,863
その他	16,987	20,027
無形固定資産	1,221	1,209
特許権	140	180
その他	1,080	1,028
投資その他の資産	395,631	384,986
投資有価証券	322,413	302,668
関係会社株式	4,900	4,900
その他	68,318	77,417
資産合計	2,413,906	2,461,513
(負債の部)		
流動負債	116,776	149,524
支払手形及び買掛金	43,549	53,688
未払金	31,613	11,297
未払法人税等	5,434	6,002
その他	36,179	78,536
固定負債	3,123	—
リース債務	3,123	—
負債合計	119,900	149,524
(純資産の部)		
株主資本	2,316,866	2,363,468
資本金	1,563,299	1,563,299
資本剰余金	1,415,003	1,415,003
利益剰余金	△ 661,436	△ 614,834
評価・換算差額等	△ 22,860	△ 51,479
純資産合計	2,294,006	2,311,989
負債・純資産合計	2,413,906	2,461,513

損益計算書

(単位：千円)

科 目	当期 (平成22年8月1日から 平成23年7月31日まで)	前期 (平成21年8月1日から 平成22年7月31日まで)
売上高	1,006,661	959,103
売上原価	589,249	515,864
売上総利益	417,412	443,238
販売費及び一般管理費	461,691	507,185
営業損失(△)	△ 44,279	△ 63,947
営業外収益	85,005	83,039
営業外費用	8,308	928
経常利益	32,417	18,163
特別利益	175	1,011
特別損失	74,872	—
税引前当期純利益又は純損失(△)	△ 42,280	19,174
法人税、住民税及び事業税	4,321	3,927
当期純利益又は純損失(△)	△ 46,602	15,246

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	当期 (平成22年8月1日から 平成23年7月31日まで)	前期 (平成21年8月1日から 平成22年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 18,782	△ 32,823
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,674	△ 295,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,086	△ 37,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,550	△ 266
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 48,093	△ 366,062
現金及び現金同等物の期首残高	311,625	677,687
現金及び現金同等物の期末残高	※263,531	311,625

※資金に含まれていない有価証券として期間1年未満の確定利回り債券557,828千円を有しております。

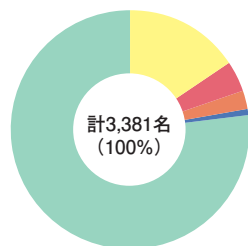
株式情報

(平成23年7月31日現在)

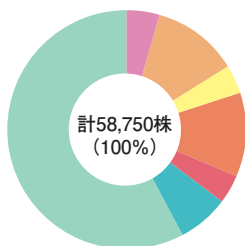
- 発行可能株式総数 172,000株
- 発行済株式の総数 58,750株
- 株主数 3,381名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
金 武 祚	17,580株	29.92%
バイオフロンティア・グローバル投資事業組合	5,250株	8.93%
株式会社ワイエムシィ	3,844株	6.54%
シービーエイチケイコリアセキュリティーズデポジトリ	2,305株	3.92%
江崎グリコ株式会社	1,830株	3.11%
金 湧 淑	1,020株	1.73%
三菱商事株式会社	1,000株	1.70%
ロート製薬株式会社	1,000株	1.70%
エース証券株式会社	800株	1.36%
株式会社AMG	759株	1.29%

● 所有者別株式分布状況



● 所有株式数別株式分布状況



会社概要

- 社 名 株式会社ファーマフーズ
- 本 社 事 務 所 〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
- 電 話 075-394-8600
- 設 立 平成9年9月12日
- 資 本 金 156,329万円 (平成23年7月31日現在)
- 従 業 員 数 25名 (平成23年7月31日現在)
- 主要な事業内容 機能性食品素材の開発・販売
- 主要な事業所 東京営業所・北京駐在員事務所

役 員

(平成23年7月31日現在)

- 代表取締役社長 金 武 祚
- 取締役 営業部長兼東京営業所所長 益 田 和 二 行
- 取締役 本社営業所所長 堀 江 典 子
- 常 勤 監 査 役 伊 井 野 貴 史
- 監 査 役 津 田 盛 也
- 監 査 役 辻 本 真 也



本社屋

株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年7月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。

株主様向け
アンケート

株主の皆様のお声を お聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>



アクセスコード
2929

いかぶ

検索

Yahoo!, MSN, exciteのサイト内にある検索窓に、いかぶと4文字入力して検索してください。



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を差しさせていただきます



※本アンケートは、株式会社 e2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

（株式会社 e2mediaについてはこちら <http://www.e2media.co.jp>）

●ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なくこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL: info@e-kabunushi.com

ホームページでも当社のことを詳しくご説明しています。

<http://www.pharmafoods.co.jp>

ファーマフーズ

検索

当社ホームページでは、ニュースリリースを適時掲載しているほか、セグメント別の事業内容など当社事業を詳しく知ることができます。また、IR情報も充実させています。IR情報については、中期経営計画、報告書等もPDF形式でご覧いただけますので、ご活用ください。

Click! バナーをクリック!



トップページ



IR情報のページ